

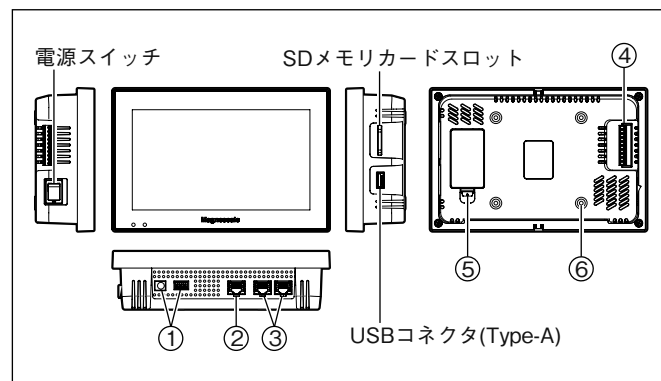
1. 概要

本製品は、メインモジュール (MG80-MA)、カウンタモジュール (MG80-CM)、I/O モジュール (LZ80-K) で構成されたインターフェイスユニットの測定データ表示や各種設定ができる表示ユニットです。

設定の方法については弊社ホームページ LT80-NE 操作マニュアルをご参照ください。

URL : <http://www.magnescale.com/mgs/product/LT80.html>

2. 各部の名称と働き



① 電源入力コネクタ

外部電源供給用のコネクタです。
DC ジャックを使用する場合：専用の AC アダプタ PSC-21A/22A/23A (別売) をご使用ください。
端子台を使用する場合：外部電源を供給してください。(DC+12 ~ 24 V)

| 番号 | 名称 | 内容 |
|----|-----|--------------|
| 1 | FG | フレームグラウンド |
| 2 | Vin | DC+12 ~ 24 V |
| 3 | 0 V | 0 V |

② 汎用 LAN ポート

保存されている測定データを LAN ポートに接続したパソコンから Ethernet 経由で読出すときに使用します。通信ケーブルは市販の Ethernet ケーブルをご使用ください。

<通信ケーブル>

CAT5e 以上のシールドタイプ

③ MGS-BUS 専用ポート

メインモジュール専用ポートが2つあります。通信ケーブルは市販の Ethernet ケーブルを使用し、メインモジュールと接続します。

<通信ケーブル>

CAT5e 以上のシールドタイプを推奨
ケーブル長：20 m 以下

④ I/O コネクタ

汎用 I/O コネクタです。入力4点、出力4点の I/O 端子があります。入出力はシンクタイプ、ソースタイプの両方に対応します。

入出力機能は画面上で設定します。

| 番号 | 名称 | 内容 |
|----|-------|--------|
| 1 | I-COM | 入力用コモン |
| 2 | IN1 | 入力1 |
| 3 | IN2 | 入力2 |
| 4 | IN3 | 入力3 |
| 5 | IN4 | 入力4 |
| 6 | OUT1 | 出力1 |
| 7 | OUT2 | 出力2 |
| 8 | OUT3 | 出力3 |
| 9 | OUT4 | 出力4 |
| 10 | O-COM | 出力用コモン |

・入力等価回路
ON電圧10.8 V以上
OFF電圧2 V以下

・出力等価回路
最大負荷電圧DC48 V
最大負荷電流DC9 mA

⑤ 電池ふた

内蔵電池ホルダーのふたです。電池交換時のみ外します。本体使用時は必ず取付けてください。

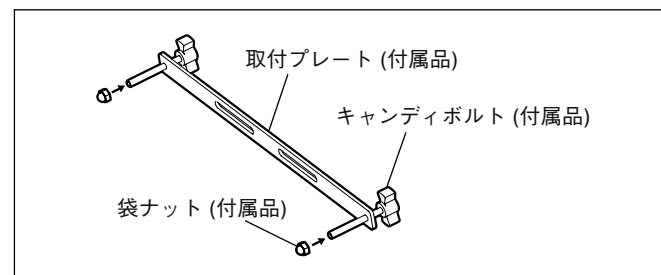
⑥ 取付穴 (×4)

パネルマウント時やディスプレイスタンド固定時に使用します。固定ねじは付属品をご使用ください。
パネルマウントの場合：付属の取付プレートを取付けます。
ディスプレイスタンドを使用する場合：市販の VESA75 に対応したスタンドをご使用ください。

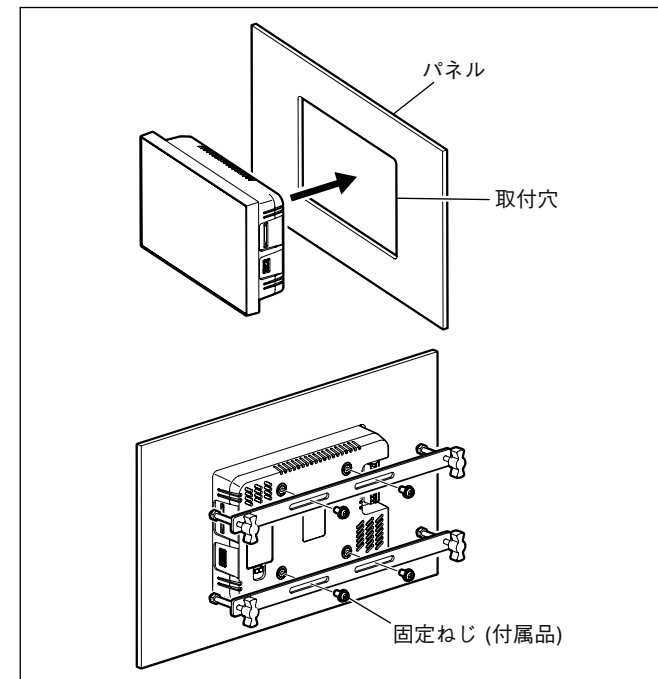
3. 設置

パネルマウントの場合

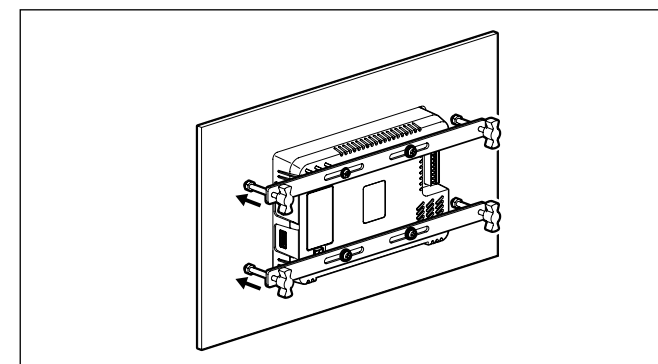
1. 固定するパネルに取付穴をあけます。(パネルカット寸法参照)
2. 取付プレートにキャンディボルトをねじこみ、先端に袋ナットを固定します。



3. 本体を取付穴に通し、付属の固定ねじで本体に取付プレートを固定します。



4. パネルに突き当たるまでキャンディボルトを締め、本体と取付プレートをパネルに挟み込みます。



※市販の VESA75 に対応したスタンドをご使用の場合は、本体を固定するねじの長さにご注意ください。

本体の固定用ねじ穴：M4、深さ 10 mm

4. 接続

下記接続を行いません。(「各部の名称と働き」参照)

- ・電源入力コネクタの接続
- ・I/O コネクタの設定
- ・メインモジュールとの接続 (Ethernet ケーブル)
- ・汎用 LAN ポートの接続 (Ethernet ケーブル)

注意

インターフェイスユニットと接続する際、各モジュールの接続順番が正しいかご確認ください。I/O モジュールは必ず構成するユニットの一番端に接続し、終端モジュールを接続してください。

5. 本体の起動と最初の設定

全ての接続が完了した後、本体とメインモジュールの電源を投入します。

本体は各メインモジュール間の通信確立後に接続構成を確認します。(起動時間：約 50 秒)

全ての測長ユニットが画面表示されていることを確認したあと、各設定を行なってください。設定は自動的に保存されます。次回の電源投入時には前回の設定状態で起動します。

6. 電源切断時のご注意

次の状態のときは、電源を切断しないでください。データや本体のソフトウェアが破損し、システムが起動しなくなる恐れがあります。

- ・機能設定中
- ・SD メモ리카ードや USB メモリへのデータ転送中
- ・汎用 LAN ポートからのデータ読出し中
- ・本体およびメインモジュールへのソフトウェアアップデート中

7. 仕様

| | |
|---------------|--|
| 型名 | LT80-NE |
| 電源電圧 | DC10.8 ~ 26.4 V |
| 消費電力 | 14 W 以下 |
| MG80-MA 最大接続数 | 4 台 ^{*1} |
| 電源入力コネクタ | 端子台×1 (3 極) DC ジャック (EIAJ4) × 1 |
| 汎用 I/O | フォトカプラ絶縁 入力 4、 出力 4 (本体にて機能を設定) |
| インターフェイスコネクタ | 制御用：RJ45 × 1 (シールド対応) データ用：RJ45 × 2 (シールド対応) SD メモ리카ードスロット×1 USB A コネクタ×1 |
| 通信プロトコル | 100BASE-TX |
| 伝送速度 | 100 Mbit/s |
| 最大ケーブル長 | 20 m (CAT5e シールドタイプを推奨 ^{*2}) |
| 表示サイズ・解像度 | 7 型 WSVGA 1024 (H) × 600 (V) |
| タッチパネル方式 | アナログ抵抗膜方式 |
| 使用温湿度範囲 | 0 ~ + 50°C (結露なきこと) |
| 保存温湿度範囲 | -20 ~ + 60°C (20 ~ 90% RH) |
| 質量 | 約 820 g |
| 取付け方法 | パネルマウント、VESA75 マウント ^{*3} |
| 付属品 | 取扱説明書、取付けプレート、 キャンディボルト 4 本、袋ナット 4 個、 固定ねじ 4 本 |

※1 LT80-NE には MG80-MA を最大 4 台、MG80-MA に MG80-CM を最大 16 台、全体構成で最大 32 台、MG80-MA に LZ80-K1/K2 は最大 2 台、全体構成で最大 8 台まで接続可能。

※2 通信ケーブルはお客様でご用意ください。

※3 VESA 規格 75 × 75 に対応